



ご挨拶
Greetings

社会福祉法人 綯会

毎年、年の瀬を感じていただく為に「お餅つき」「門松づくり」をしています。

「お餅つき」は、理事長のお宅で使っていた立派な臼をお借りして理事長を中心につきあげ、職員、ボランティアの方と一緒に手慣れたお年寄りも参加して丸めて下さいます。

「門松づくり」は約10年前から始まりました。当時、「門松づくり」の講習会があり、本部長と私、当時の用務の方と3人で参加して作り方を学び、お年寄りの見ている前で作るスタイルとなりました。

ご利用者の方の中には、作るところは初めて見たという方や、懐かしそうにずっと見ている方もおられ、「やってよかった!」と思える瞬間です。

昔はどの家でも普通に行われていた事も、今ではほとんど見られなくなり、季節の移り変わりをこのような季節行事で感じる事が出来ない今、施設だからこそ、このような行事を続ける事で季節を感じて頂きたい。

入所されているお年寄りは、在宅の方よりもっと季節を感じる事が困難になります。

私達職員が行動しなければ施設内の四季は無くなります。『旬の物を食べ、季節の行事を楽しむ』そんな普通の暮らしを楽しんでいただく為、これからも出来る限りの事をしていきたいと思ひます。



第6回のど自慢大会。今回は初めてプロの方にメイクを依頼♪皆さん久しぶりのお化粧品に乙女心がくすぐられ、ハニカミながらもとっても嬉しそうでした！衣装もばっちりキメて、素敵な歌声を聞かせて下さいました。



外国人技能実習生の受け入れについて

令和4年度、玉樹で初めて外国人技能実習生を受け入れることになりました。昨年7月に面接で選ばれたベトナム出身のビンさん、クエンさんの2名です。2022年6月に入国し、RD事業団で介護の基本用語や日本の生活について講習を受け、7月より入社予定です。現在は、母国で日本語の勉強をしながら、玉樹職員と定期的にWEB交流会を開催し、日本文化や仕事内容などの紹介を通してお互いを知る機会を作り、安心して日本に来ていただけるよう準備しています。



ケアの広場 外国人技能実習生って？

外国人技能実習制度は、開発途上国への技術移転、国際貢献が目的です。外国人を日本で一定期間（最長5年間）に限り受け入れ、母国では習得困難な技能を学び、その技能を母国に持ち帰って役立てる制度です。1993年に創設され、現在約40万人の技能実習生が日本に在留しています。主に食品加工・宿泊・金属加工等、85職種が対象で、2017年に介護分野が対象に加えられました。実習生になる方は「しっかり学んで自分の国の人の役に立ちたい」といった目的意識をはっきりと持った方たちで、来日時点で「基本的な日本語を理解することができる」日本語能力が要件となっています。



諦めていたお買い物ができる！

『お買い物に行きたい高齢者を地域の力で支えたい』という思いから昨年度、活動資金を集めるため『テーマ型募金』の活動を行いました。多くの皆さんがご協力下さり、私たちの思いが12月24日ようやく実現しました。参加された一人暮らしのスーさん(仮名)。ショッピングに向かう車中で「もう自分でお買い物に行けるなんて諦めていたから夢みたい～」と感激されていました。その声にドライバーボランティアさんは、「本当に困っている人がいるんだね」と感慨深いご様子。『町内には、買い物に行くことを諦めている高齢者が多くいる』という玉樹職員からの声を聴いても半信半疑だったのが、実際自分で見聴きして大変驚かれたようです。スーさんは、娘様夫婦に得意の料理の腕を振るうために、あれもこれもと、ウキウキ、ワクワクしながら品物を選ばれていました。

文：染野 コミ

掲載されました

茨城県社会福祉協議会発行の「月刊福祉」、広報誌「いばらきの社会福祉」につむぎプロジェクトの活動が掲載されました。記事は右記 QR コードから閲覧できます。



全館エアコン入替工事完了

開設より16年経過し、設備修理が頻繁になっていた為、昨年10月～11月にかけて省エネ対応の大規模な工事を行いました。国土交通省『既存建物省エネ化推進事業』の補助を受け、全館、高効率エアコンに入替え、窓の遮熱フィルム貼付け、天井裏断熱材の追加を行いました。工事期間中のご協力ありがとうございました。



衛生用品配布について

1月12日、国から感染拡大防止対策で配布された衛生用品を八千代町役場を通じて受け取りました。ありがとうございました。

- 不織布マスク 1750枚
- グローブ 1400枚
- ディスポプラスチックグローブ 10袋





☆元気です☆



コロナの急速な感染拡大に伴い、面会を制限させていただいており、ご心配をおかけしております。この紙面でご利用者の過ごす様子をお知らせすることで、少しでもご家族の安心に繋がればと思っております。今後ご協力をお願いしながらの感染対策となりますが、状況によって窓越し面会やオンライン面会など活用していただくと幸いです。 ※紙面の都合上等で、全員のお写真は掲載できませんがご了承ください。





その人らしさが見えたとき

クーさんは(仮名)、穏やかで控えめな可愛らしい方です。でも、控えめがゆえに、ご自分から主張されることがほとんどありません。

私たちは、どうすればクーさんらしい一面を見つけて楽しく過ごしていただけるか、表情や言動からヒントはないかと探しながら関わっていました。そんなある日、リビングで歌好きの方のために歌番組を流し始めると、クーさんが「あら？何かやってるの？」とつぶやき、その表情がキラリとしたのです。私たちはクーさんのワクワクを発見でき、とても嬉しい気持ちでした。

その日から、毎日音楽に親しむ時間を設け、歌の話題を交えて関わっていきました。すると、歌を聴きながら手足でリズムを取り、口ずさむ姿も見られ、自然と周囲との会話も増えていき、笑顔も増えていきました。

そこで、昨年末に開催された「のど自慢」のポスターを見ていたクーさんに、参加のお誘いをしてみました。初めは、遠慮されていたクーさんでしたが、すいせん荘の仲間から「上手だから歌って♪」「おばちゃん、色んな曲知ってるね。歌も凄く上手だよ」と褒め言葉をたくさん頂き、心が動いたようです。

クーさんは「のど自慢」に参加することになり、選曲は1番得意な『ブルーライトヨコハマ』に決定。すいせん荘の仲間と当日に向けて練習を頑張りました。この様子をご家族へお話しすると、素敵な「衣装」を準備して下さいました。

そして、本番当日。メイクのプロの方にお化粧品もしていただき、とても可愛らしい歌声を披露して下さいました。結果・・・なんと特別賞を受賞！

後日、ご家族が「自宅でも家族の前で歌うようになったんです。お正月には歌う姿を動画で撮ったりしてみんなで笑ったんです。こんなに変わるんですね」と声をかけてくれました。ショートステイでの関わりが、ご自宅での変化にも繋がり、今まで見えていなかったクーさんらしい一面を引き出した気がして私たちもとても嬉しくなりました。

私たちはご利用者の興味・関心があるものを一緒に探すことで、ショートステイを【その方らしい色々な一面を引き出すきっかけの場所】にしていきたいと思っています。そして、ショートステイで過ごす時間が、「自宅」でのご利用者の変化に繋がり、ご家族の笑顔や安心にも繋がるよう、その人らしさを大切にするケアをしていきたいと思ひます。





皮膚トラブル対策

高齢になると皮脂の分泌が減り、水分を保つ力も低下する為、乾燥肌になりがちです。乾燥してきめが粗くなった皮膚は、細菌・真菌・ほこりなどから体を守る『バリア機能』が失われた状態になります。そこに外部からの刺激が加わり皮膚トラブルが起こりやすくなるので【乾燥】を予防することが大切です。

皮膚トラブルを防ぐポイント【入浴】

お湯の温度

38～40度位の熱すぎない温度でゆっくりと浸かる

お湯の温度が高かったり、長湯をしたりすると皮脂を取り過ぎてしまい、乾燥が進みます。



体を洗う時

綿タオルで優しく洗う

ナイロンタオルでゴシゴシ洗うと角層を傷つけ、必要な皮脂を取りすぎてしまいます。



入浴後

できるだけ早くたっぷり保湿する

入浴後、時間が経過すると肌がどんどん乾燥してしまいます。



日頃から…

こまめに水分を摂るようにする

身体の水分不足は皮膚乾燥の原因になります。



デイサービスでの入浴の際、冬になると「体が痒くてどうしようもない」「痒くて掻き壊してしまった」という声が多く聞かれます。

身体が痒くなると掻き壊しができる。そうすると、皮膚が傷ついて余計に痒くなり掻いてしまう…このよう悪循環にならないように、デイサービスでは、痒みの訴えがある方や、皮膚が乾燥してしまっている方には、入浴後すぐに持参されているお薬やワセリンを塗布しています。痒みがない方でも「予防的」に保湿剤を使用しています。

これからも保湿や水分補給等、皮膚トラブル予防のポイントを意識し、気持ちよく入浴でき、不快なく過ごしていただけるように取り組んでいきます。





続ける効果

エミさん(仮名)は、優しく笑顔が素敵な社交的な方です。2020年12月、腰を骨折してしまい、胸まであるコルセットを装着して過ごすことになりました。すると、コルセットが当たり、左肩、左腕から手にかけて痛みや浮腫みが見られ、動かしづらくなっていました。医師からは、肩関節が固まってきているので少しでも動かしたほうがよいとお話がありました。

そんな状態の中、レクリエーションに参加されても「肩が痛いからあんまりできないな」と残念そうな表情を浮かべていたエミさんに、笑顔を取り戻して欲しいと取り組みを始めました。

入浴時

自宅でも頑張るエミさん



温まることで筋肉がほぐれて痛みも和らぎ、動かしやすくなる入浴時に、手のグーパー体操、肘の曲げ伸ばし、腕の上げ下げ運動を実施。

最初は「今日はダメだ痛くて」と仰られることもありましたが、徐々に「だいぶ痛みがとれてきた」との声が出るようになり、動かせる範囲が少しずつ広がっていきました。



「家でも体操とか指のマッサージやってんだ〜」

レクリエーション時

楽しみながら自然と肩や指先を動かすことが出来る活動を実施

約1年間
取り組みを継続!

骨折直後の写真↓↓
と比べると・・・



痛みや違和感が減ったことによって楽しめることが増え、昨年末、のど自慢大会にお誘いすると「いいよ！何歌おうかな？」と積極的に参加されました。「来年も出っから！」と頼もしい意気込みも見られました。

現在、左肩の痛みはないようで、左手は日により「少しはぼったい感じがするな」と話されることがあり、入浴中の体操は「継続」しています。

最近、玄関の上り下りが大変そうな様子が見られる為、下肢筋力維持にペダル漕ぎ等の運動も取り組み始めました。エミさんも「やってみっか！」と積極的に参加して下さっています。

骨折から約1年。【日々続けることの効果】を改めて感じると同時に、素敵な笑顔が沢山見られるようになり、私たちも嬉しいです。



みんなで支えたい ~ One for all, All for one ~

居宅玉樹には5人のケアマネジャーが所属しています。ご利用者ごとに担当は決まっていますが、「全員で一人を支えられるようにしたい」と、担当のケアマネジャー以外でも、いつでも相談を受け、動ける体制を整えています。



情報共有



毎週会議を行い、ご利用者の情報を共有しています。また会議に関わらず、いつでも居宅内で相談し合える雰囲気作りを大事にしており、お互いのご利用者が現在どのような状況か把握し、担当以外でも随時動ける体制を作っています。

書類の 一括管理



ご利用者の情報は多岐にわたります。ファイルリング方法を見直し、統一した書類管理を徹底することで、担当者以外でも必要なものがすぐに分かるようにしています。

知識の向上



病気や心理学、業務の課題解決など、様々な内容の勉強会を毎年開催し、どんな相談にも対応できるよう準備しています。

これからも「玉樹のケアマネジャーに任せて良かった」と言ってもらえるよう、5人全員でご利用者・ご家族の在宅生活をサポートしていきたいと思えます。

設えが変わりました！



以前はパーティションで区切られ、居宅事務所内の様子は分かりませんでした。『開放的なカウンター仕様』になりました。設えが変わったことで、デイ玉樹のご利用者が通りすがりに声をかけて下さるようになりました。ご利用者からも「声が掛けやすくなった」「担当ケアマネジャーの顔が見れると安心」など聞かれ好評です。私たちも表情が見られることで「今日も顔色が良さそう」「足の運びが良いな」など、ご利用者の状態や変化に気が付ける事が出来ています。

文：谷貝 智代

掲載された写真は、本人様並びに家族様の了承の上で掲載しております。

発行：社会福祉法人絢会 発行責任者：吉川 秀貴

撮影・編集：絢会の仲間たち&佐藤あすか

〒300-3572 茨城県結城郡八千代町菅谷 1021-1

TEL 0296-49-3886 FAX 0296-49-2987

Mail info@tamaki.or.jp

＜絢会の事業所一覧＞

- ・特別養護老人ホーム 玉樹
- ・ショートステイ 玉樹
- ・デイサービスセンター玉樹
- ・デイサービスセンターじゅげむ
- ・居宅介護支援事業所 玉樹

